

所属・氏名（看護学部 看護学科 氏名：白木 智子）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
1 (学術論文) 高齢者における人生の振り返りに関する質的研究	共著	2019年4月	広島国際大学看護学ジャーナル第16巻第1号	高齢者が自身の人生を肯定的に捉え今後の人生を満足して過ごすための支援に向け、サクセスフル・エイジングを実現している高齢者12名に半構造化面接調査を行い、これまでの人生の振り返りと今後の人生への思いに関する語りを分析した。自らが歩んできた人生については【信念を貫いて生きてきた】【周囲の人とのかかわりを大事にしてきた】等の3カテゴリー、今後の人生については【健康を維持し、思うように生きる】【今までの活動を継続する】等の3カテゴリーが抽出された。山田智子, 礪村由美, 乗越健輔, 白木智子, 近藤裕子 : p17-28
2 (発表) 「独り暮らし」高齢者の在宅死を可能にする終末期看護モデルの検証—デルファイ法によるケア項目妥当性の検討	共著	2018年7月	第23回日本在宅ケア学会学術集会(大阪市)	『独り暮らし高齢者の在宅死を可能にする訪問看護モデル』のケア項目の妥当性をデルファイ法により検討した。2段階デルファイ法により精選されたケア項目(全75項目)は、訪問看護高度実践家の8割以上から必要性が認められ妥当性が確保されたものと判断した。白木智子, 水野敏子, 坂井志麻, 原沢のぞみ, 佐藤直子, 成澤明, 渡邊賢治, 小池愛弓, 長江弘子, 山田雅子
3 (発表) 島嶼地域に住む高齢者に対する社会貢献活動を通しての学びと社会人基礎力	共著	2018年11月	第13回ルーラルナーシング学会学術集会(高松市)	瀬戸内海島嶼地域における社会貢献活動を4年間継続した看護学部生の学びと社会人基礎力の変化を明らかにし、活動の意義と可能性を検討した。学生の学びは【地域貢献活動は地域の人々や地域の特徴・ニーズを捉えることが必要】【地域の人々と共に学び共に成長することができた】【プロジェクトの目標を達成するためには、“準備・報連相・連携・協力”が大切】であった。社会人基礎力は全項目で上昇しており、特に〔主体性〕〔傾聴力〕〔状況把握力〕〔規律性〕〔ストレスコントロール力〕が高得点であった。吉屋寿則, 小柳なつき, 島田恵里, 高田美緒, 御園生愛美, 山田智子, 白木智子